

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6 年 2 月 13 日

事業所名 こども発達サポートiroha

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			活動空間は広く、開放的になっている。 個別指導スペースは区切られており集中した環境で行えるよう配慮している。
	2	職員の配置数は適切であるか	5			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			視覚支援カードやタイムタイマーを提示、活動内容が分かりやすい環境となっている。段差がなくバリアフリー化されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5			定期的に会議を実施し、業務改善を行っている。 参加できなかったスタッフにも都度話しあった内容を周知している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		2	外部の専門職の方にも指導して頂き改善している。相談支援事業所のモニタリングの際のご意見も参考にしている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			内部研修、外部研修に積極的に参加している。外部研修に参加した際は職員間で伝達を行っており研修内容を共有している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			今後はアセスメントツールとしてVainland IIを使用していく予定。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			スタッフ間で相談しプログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			プログラムが適切であったか振り返り、難易度を調整したり、固定化しないよう変更している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			長期休暇では、児童発達支援を利用しているお子様との共同の活動時間もあり集団生活に合わせた課題なども設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			毎回、個別活動と集団活動を組み合わせで行っている。集団活動ではSSTを取り入れた活動を中心に行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		短時間でもその都度行うようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			1日の活動が終わったとは必ず振り返り・怪我やヒヤリハットを含め報告をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			検証・改善については上司や同僚からのアドバイスも求めるようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	/	医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1		同法人でこども園を運営。園の職員とも情報共有を密に行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	学校を卒業したお子様のご利用はありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5			同法人で学童を運営。活発に交流を行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		5		必要に応じて参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			送迎時にその日の様子を伝え合い共通理解に努めている。必要があれば後日面談の機会を設けている。今後は連絡帳やソフトを導入し、より細やかな情報共有が行えるよう検討している。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			定期的または必要に応じて保護者との面談機会や相談の機会を設けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	1	保護者会は開催していないが、今後は保護者様同士の交流の機会を設けられる場を設ける予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		ホームページやSNSで定期的に発信を行っている。活動、行事予定の発信も行っている。今後は保護者の方にも周知していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	5			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5			法人内での行事に地域住民の方を招待している。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		法人内でマニュアルを作成している。保護者にも周知をより一層行っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		事業所内で避難訓練を行っている。保護者にも周知をより一層行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		